「ちりつも」について

１．　はじめに

昨年度、家庭学習の取組では、生徒に家庭学習ノートについてのインタビューを行い、どのように学習していたかアンケートを取りました。その中で学力が伸びた生徒の共通点として見えてきたことは、「学習が習慣化していること」「試行錯誤して取り組んでいること」「目標を立てていること」の三つでした。学力の高い生徒は家庭学習ノートを上手に使い、継続的に取り組むことで目標を達成することができたという成果がありました。そこで、家庭学習の取り組みでは全生徒が、義務的に家庭学習ノートを提出するのではなく、主体的に試行錯誤（自己調整）しながら学習に取り組む方法として PDCA サイクルを活用した、自己調整シートを今年度から取り組んでいきます。

２．PDCA サイクルとは

PDCA サイクルとは、昨今様々な企業でも活用されているフレームワークで、PLAN（計画）DO（実行）CHECK(評価)ACTION（改善）の流れが繰り返されることで、課題の解決や生産性をあげることを目的としています。簡単にいうと、行動を具体的に振り返り、実際に改善し、目標を達成する流れを可視化することで、なんとなく日々を過ごすのではなく、意識的に成長していくことができるスキルを身に着けることを目的としています。このサイクルを意識して、自身の生活を振り返ることで、できたこと・できなかったことを確認し、客観的な視点をもって改善することで、自己調整力を身につけ、着実に成長していくことができます。

３．運用方法

毎日の終学活で取り組むこと※2 分程度

①前日の実行欄（できたかできなかったかを○×で）、②その日の放課後以降の予定、③次の日の時間割、以上の三点の記入を行う。

金曜日の朝読書の時間で取り組むこと

①「１週間の振り返り」欄の記入、②班員との共有、③「来週に向けて（Action）」、④次週の「今週の目標欄（Plan）」欄、以上の四点の記入を行う。

提出日

・担任の先生が指定した日に、週に１度提出する。

４．内容のイメージ

・何ができて、何ができなかったか具体的に意識する。（自己調整）
・起床・就寝時間やその他予定も書ける範囲で書く。（生活習慣・時間感覚の定着）
・無理のない予定を立てる。（自己肯定感の向上）
・教科ごとにあらかじめ小テストや発表がある場合も記入。（見通しを持つ）